

# AD FSおよびUmbrellaを使用したSAMLの証明書のトラブルシューティング

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、AD FSおよびUmbrellaを使用してSAMLの証明書のみを変更できるかどうかを説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 問題

SAMLを使用してUmbrellaダッシュボードのログインをActive Directoryフェデレーションサービス(AD FS)と統合する場合は、使用する証明書を変更する必要がある場合があります。

この証明書がすでにADFSで変更されている場合、ダッシュボードにログインしようとする、次のスクリーンショットのようなエラーがダッシュボードユーザに表示される可能性があります。

“署名の検証に失敗しました。SAML応答が拒否されました。”

Signature validation failed. SAML Response rejected

 | Email (or username)

 Password

360001725103

## 解決方法

証明書情報は、ADFS環境から取得され、SAMLセットアップ中にUmbrellaダッシュボードにアップロードされるメタデータに組み込まれます。残念ながら、証明書だけを変更することはできません。

また、ダッシュボードにログインできないため、SAMLを無効にすることはできません。この段階では、SAML統合を即座に無効にできる[Cisco Umbrellaサポートに連絡](#)することをお勧めします。



注:SAMLが無効の場合、すべてのダッシュボードユーザはダッシュボードへのアクセスを再取得するためにパスワードリセットメールを受信します。Cisco Umbrellaサポートが統合を無効にする前に、この電子メールについて通知する必要があります。

---

その後、標準のSAML設定手順を実行して、ADFSからメタデータをエクスポートし、SAMLを再設定するときにダッシュボードに再度インポートできます。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。